

7/10 稲作生育速報（十日町地域）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

【生育状況、気象予報】 ～葉色濃く、草丈急激に伸長～

○生育：葉色は「濃く」推移し、草丈は急激に伸長し指標値「並」で、茎数が「多」で分けつの淘汰は緩慢です。

早生品種の幼穂の確認状況から、出穂予想は平年より2日遅い見込みです。

○気象：1か月予報（7月6日発表）では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は高い確率60%、降水量、日照時間はともに平年並の確率40%の予報。

【今後の管理】～コシヒカリの穂肥は慎重に～

- ・幼穂伸長期間に入ってきて最も水が必要な時期です。間断かん水により水の供給と地耐力の確保を図りましょう。
- ・出穂予想は平年より2日遅い見込みです。幼穂を確認し、早生品種は1回目の穂肥時期が遅くならないように穂肥を施用しましょう。
- ・コシヒカリは下位節間の伸長による倒伏が心配されるため、穂肥は慎重な対応が必要です。

1 コシヒカリの生育状況

(1) コシヒカリの生育データ（7月10日現在の気象感応ほ等）

区分		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉数 葉	葉色 (SPAD)	移植日	
						H29	平年
十日町(小黒沢) 標高147m	本年値	64	655	11.2	38.0	5月15日	5月16日
	指標比・差	95%	137%	0.2	2.0		
川西(上野) 標高170m	本年値	57	676	10.3	40.9	5月13日	—
	指標比・差	85%	141%	-0.7	4.9		
松之山(兎口) 標高429m	本年値	58	405	10.0	41.6	5月29日	5月21日
	指標比・差	102%	106%	-0.4	3.1		
津南(米原) 標高450m	本年値	64	529	11.4	37.7	5月20日	5月21日
	指標比・差	103%	106%	0.4	-0.3		

図1 【草丈 気象感応ほ等4ほ場平均】

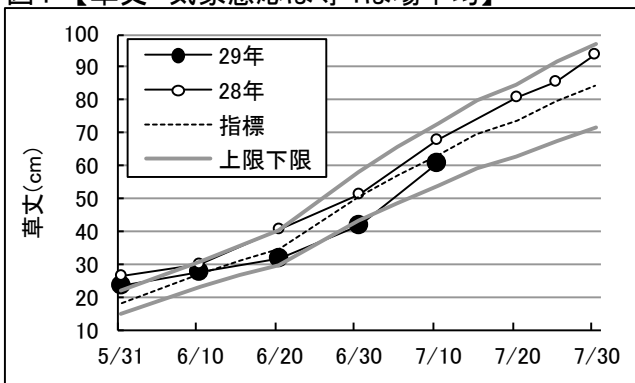


図2 【茎数 気象感応ほ等4ほ場平均】

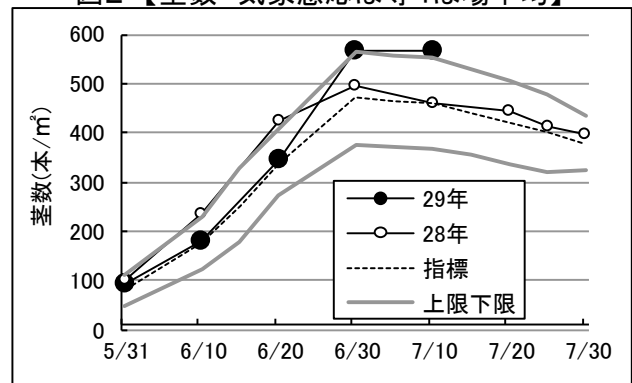


図3 【葉色SPAD 気象感応ほ等4ほ場平均】

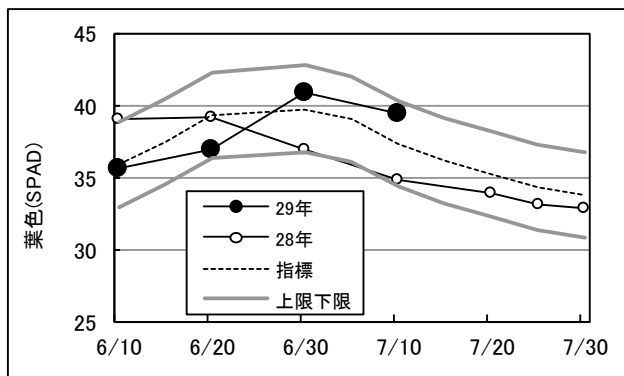
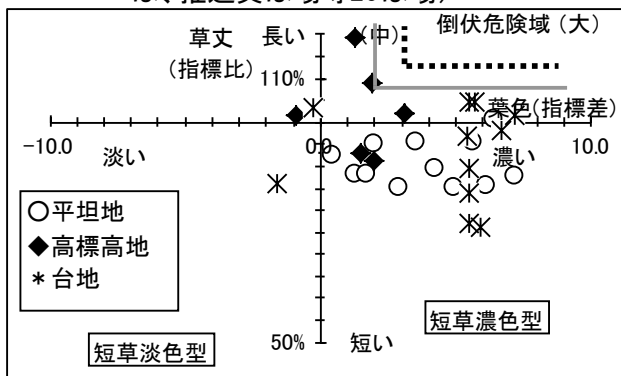


図4 【草丈・葉色(指標比・差)】気象感応ほ、推進員ほ場等29ほ場



(2) 管理対策推進員ほ場含む 29 ほ場の調査結果

- ①平地は草丈並～やや短く、葉色やや濃い。②高標高地は草丈並で一部ほ場で長く、葉色はやや濃い。③台地は草丈並～短く、葉色は濃い。

2 出穂予想と穂肥時期のめやす

○出穂期は全品種ともに平年と比較し、平地地・高標高地ともに2日遅い見込み

※ 出穂予想は平地地（標高 400m 未満）は5月20日稚苗田植え、高標高地（標高 400m 以上）は5月25日中苗田植えを想定しています。田植え時期が5日早まると、出穂期は1日程度早まります。早い田植えのほ場では幼穂確認が遅れないように注意してください。

予想値(7月10日現在)

	出穂区分	品種	予想値			穂肥時期		穂肥出穂前日数	
			出穂期	幼穂形成期	幼形期間	1回目	2回目	1回目	2回目
平地地	極早生	新潟次郎	7月24日	7月2日	22 日	6月30日	7月10日	24	14
	早生	五百万石	7月30日	7月8日	22 日	7月10日	7月18日	20	12
		こしいぶき	7月31日	7月9日	22 日	7月8日	7月17日	23	14
	中生	こがねもち	8月2日	7月11日	22 日	7月15日	7月23日	18～(15)	10
		コシヒカリ	8月8日	7月17日	22 日	7月21日	7月29日	18～(15)	10
	晩生	新之助	8月14日	7月22日	23 日	7月24日	8月2日	21～(18)	12～(10)
あきだわら	8月15日	7月23日	23 日	7月22日	8月1日	24	14		
高標高地	極早生	新潟次郎	7月31日	7月8日	23 日	7月7日	7月17日	24	14
	早生	五百万石	8月2日	7月10日	23 日	7月13日	7月21日	20	12
		こしいぶき	8月8日	7月16日	23 日	7月16日	7月25日	23	14
	中生	こがねもち	8月9日	7月17日	23 日	7月22日	7月30日	18～(15)	10
		コシヒカリ	8月13日	7月21日	23 日	7月26日	8月3日	18～(15)	10

注)今後の気温が高く推移すると、出穂は早まる可能性があります。

移植後の積算平均気温から予想しています。

今後の天候条件によって変動する可能性がありますので、引き続き稲作速報等をご覧ください。

○「新潟次郎」、「あきだわら」、「新之助」は、作付け年数が少ないため、今後の各品種の技術情報等を参考にしてください。

3 幼穂確認状況

○早生品種は肉眼で幼穂が確認できる程度となっています。

確認日	品種名	地点名	移植日	幼穂長	予想出穂日
7月7日	五百万石	十日町市上野	5月8日	9mm	7月26日
	こがねもち	十日町市野口	5月14日	0.7mm	8月1日
		十日町市小黒沢	5月15日	0.9mm	8月1日
7月10日	こしいぶき	十日町市太田島	5月15日	2mm	8月1日

出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	24日	20日	18日	12日	10日
幼穂長	0.1cm	0.4cm	1cm	4~6cm	10~12cm

4 コシヒカリの1回目穂肥診断

○出穂18日前（幼穂長1cm）の稲姿のめやす

草丈：80cm以下	葉色：葉色板の単葉で4.0以下、葉緑素計で33以下
窒素成分で1kg以内を施用	

コシヒカリ1回目の安全穂肥のめやす（草丈・葉色）

草丈 cm	90	控えめ	できない	できない	できない	できない	できない	できない	
	85	控えめ	控えめ	できない	できない	できない	できない	できない	
	80	できる	できる	控えめ	控えめ	できない	できない	できない	
	75	できる	できる	できる	控えめ	控えめ	できない	できない	
70		29	31	33	35	37	39	41	葉緑素計
		3.5	4.0	4.5	5.0	5.5			葉色板

1回目の穂肥量

生育区分	地力	穂肥	
		施用量	時期
①できる	高い	通常どおり	適期
	普通	(N成分0.5~1kg/10a)	(出穂18日前)
②控えめ	高い	ムラ直し	遅らせる
	普通	N成分0.5kg/10a程度	(出穂15日前)
③できない	高い	パス	施用しない
	普通	ムラ直し	

5 カメムシ対策

○7月上旬の抽出調査で、本田内においてカメムシが見つかっています。

○畦畔ではイネ科雑草が穂をつけるとカメムシ類の増殖地となるので、それらが繁茂している畦畔・農道等は速やかに草刈りを実施してください。